

## 山口県花き振興計画（案）に対する県民の意見内容と県の考え方

### ○県産花きの需要拡大について

	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	TPP の影響により、農業全体の衰退が懸念されるが、花きはこれまでも自由競争が続いている。この様な状況の中、燃油高騰等の影響により県内花き生産者は経営的に厳しい状況にあるので、県産花きの需要が拡大するよう PR 対策を充実してほしい。	県の花き振興にとって、需要の拡大は重要な課題であると考えています。今後とも関係団体と協働し、県産花きをしっかりと PR していきたいと考えています。
2	本年度は「花の割引券」の発行で消費者の県産花きへの関心が高まっている。今後も花きに対する様々な PR を実施してほしい。	「花の割引券」の効果を一過性のものにならないように、「PR 対策の充実強化」や「地産・地消の取組強化」にしっかりと取り組んでいきたいと考えています。
3	計画案では「PR 対策の充実強化」の記載があるが、花きを多数購入する企業への視点が欠けている。このことを再検討し、計画案の再作成、意見の再募集をして欲しい。	県内企業への PR の取組強化については、「地産・地消の取組強化」の中で検討してまいります。今後の施策推進に当たって参考とさせていただきます。
4	計画案では「地産・地消の取組強化」の記載があるが、花きを多数購入する企業への視点が欠けている。このことを再検討し、計画案の再作成、意見の再募集をして欲しい。	
5	「大都市圏等への販路拡大」の記載があるが、現状の DATA 提示がなく意見ができない。これらの DATA を加えて計画案の再作成、意見の再募集をして欲しい。	「大都市圏等への販路拡大」は今後取り組む方向性を示したものです。現状では本格的に実施しておらず、今後の施策推進に当たって参考とさせていただきます。

### ○産地を牽引する担い手の確保・育成

	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	「新規就業者の育成」の記載があるが、現状の DATA 提示がなく意見ができない。これらの DATA を加えて計画案の再作成、意見の再募集をして欲しい。	毎年 100 名程度の新規就業者(法人就業含む)がおられます。

### ○生産体制の強化

	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	県育成オリジナルリンドウ「西京シリーズ」は中山間地域で有望な品目と思う。今後も新たな品種の育成や高品質化に向けた研究を継続してほしい。	県花き振興を牽引するリーディング品目として、今後も新品種の開発や高品質化技術の研究に取り組みたいと考えています。
2	県内品種別生産概況は、産地紹介もかねて地図で明示し、売上額等も明記すべきではないかと思う。	県内市町毎の品目ごとの数値は、現在調査・公表されておりません。
3	作付面積・出荷量の DATA 表示となっているが、売上高も明示すべき。	売上高の数値は現在調査・公表されておりません。

### ○その他

	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	参考資料のグラフ等に DATA 出典を明記し、通し番号を記載すべきと思う。	数値の出典を明記し、グラフ等への通し番号の付加等修正を行いました。
2	計画実行主体が明示されていない。主体を明示の上、計画案の再作成、意見の再募集をして欲しい。	県産花きの生産・流通・消費の関係者で組織する協議会が主体となって実施したいと考えています。
3	計画に対する運営方針が明示されていない。これでは、目標年度に「できませんでした」の報告となるだけと危惧する。運営方針を明示の上、計画案の再作成、意見の再募集をして欲しい。	計画達成に対する具体的な取組については、生産・流通・消費の関係者で組織する協議会等において、毎年度目標達成に向けた協議を行いながら、目標達成に努力していきたいと考えています。
4	他の県の計画との関連性の記述がない。特に「都市緑化フェア基本構想」とは密接に関係すると考える。 当基本構想との関連を明示の上、計画案の再作成、意見の再募集をして欲しい。	「全国都市緑化フェア」を本県花き振興にとって好機と捉え、関係機関・団体と連携し、本県の優れた花きを全国に PR していきたいと考えています。

5	<p>当案件資料は20頁弱であるが、本来であれば、意見作成のためには関係計画・諸施策も確認すべき。</p> <p>その様な意見募集を年末年始を含めた上で、かつ同時期に他1件、募集期間の重なるものはさらに9件ある中、通常のパブリック・コメントと同様の1か月の期間設定では短いと思う。また、意見を述べる資料として記述不足と思う。資料再提示の上、期間の延長、意見の再募集を求める。</p> <p>また、県行政では、内規に定める期間を超過して「資料不足」を理由に「資料再提出」を指示し、長期検討を実施するケースがある。「県民＝主権者」からの「資料不足または期間不足による意見の募集の期間延長」の要請を断るのであれば、その理由を明示してほしい。</p>	<p>本パブリック・コメントは「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づいて実施しており、期間の延長等は考えておりません。</p> <p>なお、頂いたご意見は、今後のパブリック・コメントを実施する際の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>今回の意見募集の広報・記事扱いが実際どの程度あったのか、後々「広報が十分になされたか」を判断するためにも、「県のホームページ＝県行政に関心または、用事のある県民が参照する媒体」ではなく、一般県民が広く目にする新聞にどの様に広告掲載されたのか、具体的に提示して欲しい。</p> <p>また、意見送付県民数・意見数により広報が十分されたのか判断し、明示してほしい。</p>	<p>本パブリック・コメントの実施については「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき、平成27年12月25日に報道各社に発表しました。</p> <p>また、1月9日の山口新聞及び中国新聞、1月15日のサンデー山口の紙面で、実施に係る広報を行っております。</p>
7	<p>当案件の内容は専門性の高いものとなっている。県民からの意見募集の他に、住民、関係者、専門家からの直接の意見聴取等の実施をしてほしい。</p>	<p>振興計画(案)策定にあつては、花きの生産・流通・消費・文化・行政等関係機関・団体の代表者で構成する策定検討会を開催し、専門的・大局的なご意見をお聞きしながら策定しております。</p>
8	<p>可能であれば、年次把握が誰でもしやすいように年代は元号西暦併記してほしい。</p>	<p>記載した数値について、図表等の分かりやすさを考慮し、全て元号の平成で統一しました。</p>